

令和5年度 第1回学校運営協議会 記録

2023.06.20 13:40 開会

参会者 高橋敏夫氏 高橋孝氏 伊藤浩一郎氏 寒河江秀典氏 高橋亮氏
高橋戒舟氏(地域学校協働活動統括コーディネーター) 長岡賢太氏(飯豊町社会教育課主事)
高橋浩校長 武田俊英教頭 井上勝見地域学校協働活動推進員

1. 授業通覧 5・6年(外国語) 1年(帰りの会) 4年(道徳)

2. 開 会

※出席人数の確認、辞令の手交(校長より)、自己紹介を行う。

3. 校長挨拶

- ・ 梅雨入りとともに雨降りの状態が続き、先週予定していた持久走大会を中止せざるを得なかった。本日体育の時間を使って記録会を行った。
- ・ 漏水のためプールが使えなくなり、昨日から添川小学校と合同で町プールでの水泳授業がはじまったところである。
- ・ 新たな任期スタートの学校運営協議会であるが、事前に委員として内諾を得るべきであったところ抜けてしまった。お詫び申し上げたい。
- ・ 様々な立場の代表の方々にお集まりいただいている。引き続きそれぞれの立場から本校の教育活動にご助言をお願いしたい。

4. 会長・副会長の選出

- ・ 会長に高橋敏夫氏、副会長に鈴木泉氏が選出された。

5. 協議 議長 高橋敏夫氏

Q: 質問 A: 応答 O: 意見

(1) 学校経営の方針及び重点

パワーポイントを使用したプレゼン(内容は別紙)……提案; 高橋校長

◆拍手により承認。

(2) 今年度の学校運営協議会活動について

別紙資料にて提案……提案; 井上地域学校協働活動推進員

Q 獅子舞の練習には本物の獅子を使って練習しているのか？

A 長井市の獅子宿（伊佐沢）から獅子頭（2頭）をお借りして練習している。保健室前に常設している。
（井上地域学校協働活動推進員）

Q 運動会の予備日は？
（高橋会長）

A 地区の運動会と重ならないということなので順延という形で日曜日に設定している。

（高橋校長）

Q めぎみの里祭りとの兼ね合いは大丈夫か？

（高橋孝氏）

A 9月2日にあ～すでは行わないということだけははっきりしている。（工事の関係上）

同じ日に違う場所であるのか、別の日に違う場所であるのかについては7月3日決定する予定である。決まり次第連絡を差し上げる。（長岡主事）

◆ 拍手により承認

（3）地域学校協働本部の設置について

別紙資料にて提案……………提案；高橋地域学校協働活動統括コーディネーター

Q 学校運営協議会が学校にあってそのほかに働本部を設置するといった場合、事務局をどのように設けていくかといった具手的なイメージはできているのか？

（井上地域学校協働活動推進員）

A 学校を核とした地域づくりということなので、学校主導では地域づくりに結びついていけないだろう。学校を利用して地域づくりを進めていくためにはどのような形でつくっていかばいいのかについてはご意見・ご助言をいただければありがたい。

O どこでやっていけばいいかということ考えた場合、公民館なのかなという感じがする。地域行事に子どもにも参加してほしいという願いは前からあったが、子どもが忙しくて大変だという実態との葛藤があった。子どもは少ないけど地域で育てたいという思いはある。こういう組織ができるとどのような行事があるのかということが見えてきて、複数の組織が合同で事業を行うなどの工夫もできるようになるのではないかと。（寒河江秀憲氏）

O 義務教育学校の枠の中での協働活動ということも考えていかなければならない。この2～3年の間に何らかのものをつくっておかないと次に繋がりにくいのではないかという思いがある。設置に向けた具体的な雛型のようなものはない。地域の実情に合わせて作り上げていく必要がある。（高橋統括コーディネーター）

O 義務教育学校になったとしても、これまでの地区毎の活動は残していく必要があると思うし、それがなければ納得する人もいなくなるだろう。一緒になってやることの他に別々にやっていくことも残していく必要がある。（寒河江秀憲氏）

O これまでのものにプラスして新しい学校での活動も出てくると二重三重に忙しくなってくるのではないかと。どういう形で活動を仕分けして残していけばいいのか…難しい課題である。

(高橋会長)

○ 例えば人数が少なくなったのでお祭りを実施するにも物理的に苦しいといった場合、義務教育学校になったら地域の行事に他地区の子どもも参加することによって成立するなどといったこともできるのではないか。(高橋統括コーディネーター)

○ 義務教育学校が始まったとき、自分たちの学校という意識をいかに保っていくかということが大事である。例えば3つの学校が集まる西校舎を考えた場合、それぞれの学校の地域性が全部集まってくるということになる。一方、北校舎はもともと1校だとすると両校舎のバランスは微妙に違ってくる。町全体としてのバランスを考えるととても心配である。特に西校舎はこれから相当話し込んでいく必要がある。やがてはそれが統合のモデルとなっていくと思うのだが……。

(高橋亮氏)

○ 手ノ子小学校は、高峰・中津川と一緒にいるという経験をしている。本校は西校舎に統合されたときに、それらの経験を伝えていく役割があるのではないか。(寒河江秀憲氏)

○ 手ノ子小で取り組んでいる放課後活動等がこれからの地域学校協働活動のモデルになっていくのかなと思いつながりながら話を伺った。毎週水曜日中学校は4時間あがりなので、手ノ子小のわくわく3KEN広場に中学生と一緒に加わりながら花笠の練習をやったりしている。例えば毎週水曜日の午後は地域活動の日として位置付け、それぞれの地区に子どもたちが戻った時に地域の方々といろいろな交流ができるようになっていけばいいのかなと思う。(高橋校長)

(4) その他

(提案は特になし)

- ・ わくわく3KEN広場で四方山会や獅子連の協力を得ながらの活動協働活動を進めているという手ノ子小学校の取り組みをお聞きし、町や国がめざしているような活動を実施されていると感じた。地域学校協働本部についても組織立てには課題もあるかと思うが、すでに手ノ子小学校では協働本部としての機能は実質動き出しているといった感じを受ける。今後も継続して地域との結びつきを濃くして地域づくりに貢献していただきたい。(長岡主事)

6. その他 (特になし)

7. 閉会